

担当：Bグループ
(職域との連携グループ)

インプット(やるべきこと)		インプットに求める成果	アウトプット	アウトカム(達成したいこと)		インパクト
行政	関係団体			短期アウトカム	長期アウトカム	
・特定健診・保健指導の実施率向上対策(広報強化) ◆企業との連携により、職域での健康づくりを支援	・健康経営の推進による社員への普及啓発(企業) ◆健診(検診)を受診しやすい環境の整備(企業)	健康への意識が高まり、定期的に健診を受け、健康管理をしている人が増える。	・特定健康診査の実施率 ・特定保健指導の実施率 ・きょうと健康づくり実践企業認証制度の認証企業数			★健康寿命の延伸
◆それぞれの生活実態に合わせた「食材」「惣菜」の選択方法など、食に関する正しい情報の提供	◆健康志向(適正なエネルギー量)の惣菜やメニュー等を提供する店舗・飲食店の増加(飲食店・企業) ◆自食を選択することができるよう、分かりやすい食品表示に努める(飲食店・企業)	市民が適正なエネルギー量の食品を選択することにつながる。	・スマートミール認証事業等の認証獲得数(飲食店・企業)	★「朝食を毎日食べている人(3歳児・小学5年生・中学2年生・16歳以上)」の増加 ★「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人(小学5年生・中学2年生・16歳以上)」の増加 ★「ふだんから歩くことに努めている人(16歳以上)」の増加 ★「1日30分以上の運動習慣のない人」の減少	★「肥満の人の割合(壮年後期男性・壮年後期女性)」の減少 ★「メタボリックシンドロームの該当者・予備群」の減少	
◆インセンティブのあるウォーキングアプリの活用等楽しみながら運動できる取組の実施 ◆関係団体等と協働した、運動習慣の定着のための環境整備	◆多世代が気軽に参加できる運動機会の増加(地域団体)	アプリ等をきっかけに運動習慣の醸成につながる。	・ウォーキングアプリの登録者数の増加			
・イベント、WEBサイト、SNS、広報誌等での啓発活動 ◆SNSの活用などターゲットに合わせた普及啓発 ◆健康に関する情報の集約と発信 ・関係団体の好事例の取組の情報収集・発信 ・専門職による健康教育の実施	・健康教育、健診の実施(学校) ・健康教室、イベント、WEBサイト、SNSでの啓発活動(地域団体) ・健康講座やイベントの開催(医療機関、地域団体) ◆地域で身近で気軽に相談できる場の増加(健康や食の専門家等)(地域団体)	戦略的な広報や身近な相談場所の増加により、健康に関心が薄い人を含めた多くの人に健康情報を届けることができる。	・健康づくり・食育イベントの実施回数・参加人数(肥満・メタボリックシンドローム対策関連) ・65歳未満対象の健康教室の実施回数(肥満・メタボリックシンドローム対策関連) ・宇治市健康づくり・食育アライアンス加入団体数			

「職域(企業)と連携した壮年期(働き盛り世代)の健康づくり～若い世代の健康意識を高めるための取組～」をテーマに、今後の行政・関係団体の取組内容について、グループワークにて検討